

2023/2/11 ピアサポートのアンケート

●現在30才で、最近結婚された女性に、小6の時にお会いしましたが、当時お母さんと相談に連れてこられた妹さんが、幼いながら心配そうに同席されていたのを今日の話聞いて思い出しました。20年前にもった妹さんについての懸念をお母さんにお伝えしたかどうかは忘れましたが、大きくなられてお姉さんの結婚を機にきょうだい関係が変化したと聞いて非常に安堵しました。思春期にかなり家族関係が険悪になったとのことでしたが、次女さんが我慢していたものを表に出すことができ良かったと思います。仕事柄それなりの数のご家族にお会いしますが、持続的にかかわるような立場ではないので、今日のような機会があります。

●長男 中1 がんばりすぎて不登校 次男 小5 ADHD、支援級、行きしぶり登校 はじめて参加しました。小5の次男の扱いに困っています。意志も強くなり、どうしていいかわからない状態です。今日話をきいて皆さん どうかこうにか大人になってすばらしいなあと思いました。小さい時は突発的衝動的行動や、かんしゃくなど、どう対応していたんだろうと、色々参考聞きたいと思いました。また勉強させて下さい。今日話をきいて、笑顔ではなされるのをきいて、心配ばかりでしたが、光がみえた気がしました。貴重な時間でした。

●子どもの心に寄り添うことの難しさを感じました。とても今の自分にピッタリのテーマで、たくさんの方のお話がきけてよかったです。

●それぞれの家族内での立場や考え方を聞くことができ、とても興味深かった。特に姉の立場の木の花の先生の話は、母の立場から考えさせられることばかりだった。どの子もきょうだいの立場で見えているものがあることを心がけようと思えました。

●そばにいるのに、見すごされてしまうきょうだいのこと、「この子は大丈夫な子」とされてしまうきょうだいのこと、耳がいたいわと思いつつ、お話を聞いていました。父・母・子、家の中で、関係の調整が必要なケース…うちもそうなんじゃないかな…と思いつつ、聞いていました。当事者のきょうだいの立場の方のお話が、すごい貴重や！と思いました。

●私は、6歳の頃にASD・ADHDの診断を受けました。弟が2人いますが、2人共、私の障害のことは知らないと思います。でも、今も昔もお姉ちゃんとして、家族として、接してくれているので、父と母が私のことを障害者ではなく、家族、姉として向き合っていけるよう、あえて、障害のことを伝えなかったのかな？と感じました。”親は何も助けてあげられない”、”助けよう助けようしちゃうけど、それはすべきじゃない”といった旨のお話を伺って、自分のパートナーのことを思い浮かべました。パートナーも ADHD・ASD があり、私はいろいろ、助けなくちゃって思ってしまうのですが、パートナーから”支援は求めてないから、助けようとしなくて！”と謂われたばかりだったので、とても心にささりました。

●大井先生にお声かけ頂いて初めて参加しました。娘は19才で高校卒業して今生活支援の施設に通っていますが、親も子も先が見えずくらい日々を送っています。(子本人がどう思っているのか よく私はわかっていませんが。)今日はいろんな方のお話をきくことが出来てとても心が楽になりました。またぜひこういう会に参加したいし、きっと他にもこういう場につながっていない親御さんもいらっしゃるのではないかと思います。そういう方の力になってあげたいなと思いました。

●今日はありがとうございました。なんでしょう、久々に泣き笑いしました。長女さんからみた弟くんの話をうかがって、自分自身の娘のことをふりかえり。成長した息子さん2人の様子をおもしろく話されてるつもりではないのに、自分の経験エピソードが重なると、笑えてきて、でも涙が出ました。がんばろうかなあと感じました。不安もありますが、優しい人なので。まだまだ子育て、というか彼たちと歩んでみるかな、と。みなさんを笑いとばせると、元気が出ますね。ありがとうございます。【HPに載せない感想】

●はじめて、自分のことを明かしました。自分が思っていたこと、素直に話せてよかったです。みなさんがあたたかく きいてくださって、受け入れてくださって、安心しました。まだまだエピソードならいっぱいあるので、だれかのお力になれたらいいなと思います。

●今日はありがとうございました。色々なタイプの人、きょうだい、家族があり、関係性があるなど改めて思いました。そして、そこにつながる人との関わりもあるなと思いました。色々なお話が聞けて、とても面白かったし、良い学びとなりました。障害に関係なく人との出会い、本質を見ようとする出会いが出来るのは素敵なことだと思いましたし、本質を見ていく事が大切だと思いました。私自身も人としての尊厳を大切にしたいです。

●うちは一人っ子ですが、色んなお家の関わり方を聞いて勇気づけられました。これからも、テーマに関わらず参加しようと思います。いつもありがとうございます。

●生の経験談を聞ける機会はやはりいいと思いました。一人の相談が終結したあとに、そのきょうだいが相談に来る、ということが、長く仕事していると何例かあります。また、相談でなくても、「ちょっと話したい」と、やってきて昔きょうだいや家が大変だった頃を振り返って自分の気持を整理しているように見えることもあります。憂いのあるきょうだいさんたちが、それはそれで味わいのあるすてきな大人になっていると感じています。